

平成 22 年度第 1 回スポーツ振興審議会（平成 22 年 9 月 10 日開催）での意見とその対応案

	審議会での主な意見	対 応 案
1	推進施策「成長期のジュニア選手のサポート」について、老齢期のジュニア選手はいないと思うので、「成長期」は必要ないのではないか。	成長期は、心身両面において不安定な時期であり、十分なケアが必要であることを強調する必要があることから、「成長期」は削除しない。
2	数値目標「週 1 回以上スポーツをする市民(20 歳以上)の割合を 63.0%以上にします。」について、8 月に発表されたスポーツ立国戦略では同様の目標が 3 人に 2 人で 65%程度ということになっている。広島市がこれを下回ってもいいのか。どうせ目標を示すのならこれ以上にしてもいいのではないか。	数値目標を「週 1 回以上スポーツをする市民(20 歳以上)の割合を <u>3 人に 2 人(65.0%)</u> 以上にします。」に修正する。
3	推進施策の「広島市小学生体育連盟の活動への支援」と「スポーツ少年団の活動促進」について、団体名称をスポーツ少年団も広島市小学生体育連盟と同じように書いてもらうか、小体連と少年団を分けるのではなく、小学生で構成されるスポーツ団体のようなオブラートに包んだ形で記載してもらいたい。スポーツ少年団に入っていないサッカーのチームや小体連にも入っていないサッカーのチームがあることを理解してもらいたい。	推進施策「スポーツ少年団の活動促進」について、スポーツ少年団の名称を広島市スポーツ少年団に修正する。 なお、広島市スポーツ少年団や広島市小学生体育連盟以外のサッカーチーム等について計画に盛り込むことは難しいと考えているため、オブラートに包んだ形では記載しない。
4	地域スポーツ振興担当コーディネーターが多く出てくるが、コーディネーターの老齢化が進むと事がうまくいかなくなるので、体育指導委員も併記する部分があっても良いのではないか。	推進施策「地域スポーツ振興担当コーディネーター等によるスポーツセンターを拠点とした地域コミュニティの活性化」の内容の記載に当たって、地域スポーツ振興担当コーディネーターと体育指導委員を併記する。
5	推進施策「地域スポーツ振興担当コーディネーターによる子ども会や児童館の事業への支援」について、児童館には指導員がいるのにコーディネーターが指導する必要がないのではないか。	推進施策「地域スポーツ振興担当コーディネーターによる子ども会や児童館の事業への支援」の内容の記載に当たって、児童館の指導員が上手く子どもにスポーツ指導などを行えるよう、地域スポーツ振興担当コーディネーターが指導等を支援することが明確になる内容とする。

	審議会での主な意見	対 応 案
6	<p>民間のスポーツセンター等との指導連携などについて、記載する必要があるのではないか。</p> <p>民間スポーツクラブとの連携について、「健康づくり・体力づくりに向けたスポーツの振興」のメタボ対策などが書かれてあるところに、民間との連携が大事なのであればそういう形のものを掲げてはどうか。</p>	<p>推進施策「40代からの健康づくりや高齢者の健康づくりのための事業の実施」の内容の記載に当たって、民間スポーツ施設との連携を視野に入れた内容とする。</p>
7	<p>数値目標「新体力テストの結果で広島市の平均値が全国の平均値以上となっている項目数の割合を50.0%以上にします。」について、スポーツ王国広島を目指す中、全国の平均値ぐらいでよいのか。</p>	<p>50.0%という数値目標は、平均値ということではない。</p> <p>新体力テストの結果で、広島市の平均値が全国の平均値以上となっている項目数の割合は、平成17年度の8.1%から平成21年度の34.8%まで、毎年向上してきている状況であることから、今後も計画的に体力向上の取組を進め、50.0%以上という目標達成を目指していく。</p>
8	<p>基本理念について、『・・・「スポーツが好き、仲間が好き、広島が好き」な市民の笑顔であふれる・・・』という部分の、「・・・」な市民という文章のつながりがよくないのではないか。</p> <p>「スポーツが好き、仲間が好き、広島が好き」という文言はサブタイトルにあるので、本文の中に入れなくてもよいのではないか。</p>	<p>「スポーツが好き、仲間が好き、広島が好き」の意図を分かりやすく説明するため、基本理念の本文中の記載を「・・・<u>スポーツや仲間、広島が好き</u>な市民の笑顔であふれる・・・」に修正する。</p>
9	<p>基本理念について、前段部分の『・・・「スポーツ王国広島」は競技力の向上が達成された姿としてイメージされてきました。』というのがあまりよくないイメージで読まれる可能性があるように思う。過去にはスポーツ王国を体現されて広島の名前を広めてくれた人もおられると思うので、もう少し配慮ある書き方がいいかなと感じている。</p>	<p>「スポーツ王国広島」が競技力の向上が達成された姿としてイメージされてきたことを成果として捉え、中段の記載を「今日の広島市のスポーツの現状や課題、<u>成果</u>を踏まえ、・・・」に修正する。</p>

	審議会での主な意見	対 応 案
10	<p>推進施策「民間主体のサッカー専用スタジアム整備の支援」について、「民間主体」という言葉は不要ではないか。削除した方が適切ではないか。</p> <p>市が主体にならないということが確定されているのであれば、市は主体にならないがということを明記すればよいのではないか。</p> <p>事務局案は「気運に呼応する」という言葉が抜けている。「民間主体」をとっても、気運に呼応して支援をすればやわらかくなるのではないか。</p>	<p>基本計画を策定したときから状況は変化していないので、「民間主体」は削除しない。</p> <p>ただし、推進施策の名称を見ただけで、意図がより明確に伝わるよう、推進施策の名称を「民間主体のサッカー専用スタジアム整備の<u>気運に呼応した支援</u>」に修正する。</p>
11	<p>加盟チームの情報を提供していくと他のチームの試合にも行ってみようかということになるのではないか。</p>	<p>「計画の背景」の説明の中に、トップス広島に加盟しているクラブチームの説明を加える。</p>
12	<p>トップス広島に加盟するチームについては、子どもたちの方が認知度は高いと感じている。</p> <p>(広島市の企画調整部が毎年行う)市民意識調査では子どもが該当しないが、子どもに関する目標を設けることで子どもたちに向けての調査なども検討できたらと思う。</p>	<p>数値目標「トップス広島に加盟するチームの試合を年1回以上会場で観戦した市民(20歳以上)の割合を43.2%以上にします。」について、子どもも対象とし、「トップス広島に加盟するチームの試合を年1回以上会場で観戦した市民の割合を50.0%以上にします。」に修正する。</p>